様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（①定期健診受診率（実質100％））**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】以下①②のいずれかに該当すること**①やむを得ない理由がある者を除き、労働安全衛生法に基づく定期健康診断における直近の受診率が100％であること。②やむを得ない理由がある者を除き、労働安全衛生法に基づく定期健康診断における直近の受診率が95％以上（ただし、対象者が20人未満の場合は、未受診者1人以下）であり、未受診者に対して、早期に受診するように適切な受診勧奨を行っていること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)健診実施時期 | 　　年　　　月　～　　　　　年　　　月　 |
| b)従業員数 |  | 人　→「ｅ)受診率②」へ転記 |
| ※期末時点の常時使用する従業員のうち、定期健康診断の受診義務がある従業員の人数を記載すること。※年度中に入社した方は対象に含め、雇入時健診を受診している場合は健診受診者数に含める。 |
| c)対象除外人数 |  | 人　→「ｅ)受診率③」へ転記 |
| ※以下を対象人数から除外します。（新型コロナウイルス感染症の流行を理由とした健診の非受診者は除外できません。）・海外赴任、育児休業・傷病等による休業等により、期間を通してやむを得ず受診できなかった者・常時使用の従業員だが週の所定労働時間が正社員の3/4未満等、健康診断の受診義務がない者 |
| d)健診受診者数 |  | 人　→「ｅ)受診率①」へ転記 |
| ※年度中に入社した方は対象に含め、雇入時健診を受診している場合は健診受診者数に含める。 |
| e)受診率※小数点以下切り捨て |  | ％　＝ | ① | ÷ （ | ② | － | ③ | ） |
|  |  |  |
| 未受診者がいる場合の勧奨方法（該当項目を■） | □１ 個別にメールや文書等で通知□２ 個別に声かけ・面談□３ 個別に再度日程を設定 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（②－１受診勧奨の取組（②－２、②－３以外））**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】以下①②のいずれかに該当すること**①定期健康診断等の結果、再検査や精密検査が必要とされた従業員に対する受診を促すための取組または制度があること。②従業員に対する任意検診の受診を促す取組または制度があること。※定期健康診断、また、保健指導、特定保健指導や、女性の健康に特化している受診勧奨については、評価項目①⑧⑪において評価すること。 |

|  |
| --- |
| 1. 再検査や精密検査が必要とされた従業員に対する受診を促すための取組または制度
 |
| 内容（該当項目を■） | □１　対象者に対してメールや文書等で通知□２　対象者に対して個別に声かけ・面談□３　対象者に対して個別に再検査や精密検査の日程を設定□４ イントラネット、掲示板、朝礼、会議等での受診勧奨□５ 受診時の就業時間認定や特別休暇付与□６ 費用補助□７ 受診者に対するインセンティブ（費用補助以外）付与□８ 受診が必要な従業員に対して受診報告を義務づけ、状況を把握□９ その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 1. 任意検診の受診を促す取組または制度
 |
| 内容（該当項目を■） | □１　メールや文書等による受診勧奨□２ イントラネット、掲示板、朝礼、会議等での受診勧奨□３ 受診時の就業時間認定や特別休暇付与□４ 費用補助□５ 受診者に対するインセンティブ（費用補助以外）付与□６ 定期健康診断にオプションとして付加できる医療機関と契約□７ その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（②－２がん検診の受診勧奨の取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員に対し、がん検診の受診を促す取組または制度があること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 内容（該当項目を■） | □１　メールや文書等による受診勧奨□２ イントラネット、掲示板、朝礼、会議等での受診勧奨□３ 受診時の就業時間認定や特別休暇認定付与□４ 費用補助□５ 受診者に対するインセンティブ（費用補助以外）付与□６ 定期健康診断にオプションとして付加できる医療機関と契約□７ その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（②－３がん精密検診の受診勧奨の取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員に対し、がん精密検診の受診を促す取組または制度があること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 内容（該当項目を■） | □１　メールや文書等による受診勧奨□２ イントラネット、掲示板、朝礼、会議等での受診勧奨□３ 受診時の就業時間認定や特別休暇認定付与□４ 費用補助□５ 受診者に対するインセンティブ（費用補助以外）付与□６ 定期健康診断にオプションとして付加できる医療機関と契約□７ その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（③ストレスチェックの実施）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員数50人未満の全ての事業場および従業員数50人以上の全ての事業場（法令遵守）において、労働安全衛生法に定められたストレスチェック制度に準じて、ストレスチェックを実施していること。なお、ストレスチェックの実施者は医師、保健師または厚生労働大臣が定める研修を修了した歯科医師、看護師、精神保健福祉士もしくは公認心理師である必要がある。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)50人未満の事業場の有無（該当項目を■。「有り」の場合は数を記入） | □１ 有り　（　　　　　　　　か所）□２ 無し　（50人以上の事業場におけるストレスチェック（法令義務）は実施） |
| b)実施時期 | 　　年　　　月　～　　　　年　　　月 |
| c)外部委託の有無（該当項目を■） | □１ 有り□２ 無し |
| d)実施方法（該当項目を■） | □労働安全衛生法に定められたストレスチェック制度に準じて実施　している※厚生労働省「ストレスチェック制度導入マニュアル」等、各種ガイドラインをご確認ください。 |
| e)実施者（該当項目を■） | □１ 医師□２ 保健師□３ 厚生労働大臣が定める研修を修了した歯科医師、看護師等 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（④管理職又は従業員に対する教育機会の設定）（１／２）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】以下①②のいずれかに該当すること**①１年度に少なくとも１回、管理職や従業員に対し、健康をテーマとした研修を実施している、または、外部機関主催の研修等（健康づくり担当者等を対象とした専門職研修や個人が任意で受講している研修等を除く。）に参加させていること。※女性の健康課題やたばこの健康影響に関する研修・セミナーの実施は評価項目⑪⑯において評価すること。※研修等には、令和６年度中の実績がある心身の健康に関する検定等の受講、取得支援を含む。②少なくとも１か月に１回の頻度で、全従業員に対し、健康をテーマとした情報提供を行っていること（従業員個人に届く方法で行うこととし、単なる掲示等による情報提供は除く。）。※評価項目⑤から⑭に掲げる取組における情報提供については本項目で評価することとし、情報提供以外の具体的取組を評価項目⑤から⑭で評価すること。 |

|  |
| --- |
| 1. 健康をテーマとした研修等に関して
 |
| a)テーマ　（該当項目を■） | □１ ヘルスリテラシーの向上□２ ワークライフバランスの推進□３ 職場の活性化□４ 仕事と治療の両立支援□５ 特定保健指導・保健指導の実施率向上□６ 健康増進・生活習慣病予防、転倒等予防対策（食事・運動等）□７ 肩こり・腰痛等の筋骨格系の症状の予防□８ 感染症予防対策□９ 過重労働対策□10メンタルヘルス対策□11その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)対象者　（該当項目を■） | □１ 従業員 　 □３ 衛生管理者や健康づくり担当者等□２ 管理職　　　　□４ その他（　　　　　　　　　　　　）⇒一部の管理職や衛生管理者等が外部機関主催の研修等を受講した場合は、下記の方法により他の受講すべき者へ伝達□１ 個人宛通知□２ 文書回覧□３ 受講すべき者がいる朝礼や会議等□４ 受講すべき者が目にする場所やイントラネットに掲示□５ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| c)実施時期 | 年　　　　月 |

（次ページに続く）

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（④管理職又は従業員に対する教育機会の設定）（２／２）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 健康をテーマとした情報提供に関して
 |
| a)テーマ　 （該当項目を■） | □１ ヘルスリテラシーの向上□２ ワークライフバランスの推進□３ 職場の活性化□４ 仕事と治療の両立支援□５　特定保健指導・保健指導の実施率向上□６ 健康増進・生活習慣病予防、転倒等予防対策（食事・運動等）□７ 肩こり・腰痛等の筋骨格系の症状の予防□８ 感染症予防対策□９ 過重労働対策□10メンタルヘルス対策□11その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)情報提供の実施頻度 | □１　月に１回以上□２ 月に１回未満 |
| c)実施時期 | 年　　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑤適切な働き方の実現に向けた取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　組織として時間外勤務の縮減や有給休暇取得の促進等、仕事と家庭生活の両立に向けた環境づくりのための取組を継続的に行っていること。※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１ 残業の事前申告制度を設定□２ PCのログイン記録等、入退社時刻を正確に記録するシステムを導入し、従業員が申告した勤務時間との間に差がある場合には指摘・是正（タイムカードの導入のみの場合を除く。）□３ 長時間労働をしている部署の上司や部署に対するペナルティを設置□４ 時間外労働時間の削減を管理職の評価項目に設定□５ 時間外労働時間の削減を一般従業員の評価項目に設定□６ 業務繁閑に応じた休業日の設定や所定労働時間の変更（お盆・年末年始休暇、慶弔休暇を除く。）□７ 勤務間インターバル制度を設定□８ 時間単位で年次有給休暇の取得が可能（半休を除く。）□９　フレックスタイム制度や時差出勤制度を設定□10 任意のタイミングで取得できる有給の特別休暇制度（お盆・年末年始休暇、慶弔休暇を除く。）の設定(例：ボランティア休暇、永年勤続休暇、病気休暇、看護休暇、骨髄等移植のドナー休暇等)□11 定時消灯日・定時退勤日（ノー残業デー等）等の設定□12 育児や介護等のための法定を超える短時間勤務や、本人の希望に応じて週休３日制等の勤務制度を導入□13 睡眠の質と量が健康状態に与える影響等の周知啓発□14 その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)取組開始時期 | 　　年　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑥コミュニケーションの促進に向けた取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員同士のコミュニケーション向上を目的としたイベント等の取組、または、外部機関主催のイベント等への参加の働きかけを、事業者が主体となって、１年度に少なくとも1回以上定期的に、全従業員向けに実施していること。※一部の従業員により開催されたもの、また、接待や営業目的によるイベント開催等は不適合。※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。※メンタルヘルス不調者への個別の対策は、評価項目⑬において評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１ フリーアドレスオフィス等の職場環境整備□２ 社内ブログ・SNSやチャットアプリ等の従業員間コミュニケーション促進ツールの利用を推進□３ 従業員同士の交流を増やすための企画を実施（例：意見交換会、一言スピーチ、社内掲示板の活用、サンクスカード等）□４ 同好会・サークル等の設置・金銭支援や場所の提供□５ 社員旅行や家族交流会・昼食会等のイベントの開催・金銭支援や場所の提供□６ ボランティア、地域祭り等に組織として関与し、従業員が参加するよう働きかけ□７ 従業員同士が感謝を伝え合うことに対するインセンティブの付与　　 （例：社内通貨、社内サンクスポイント制度等）□８ その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)実施時期 | 年　　　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑦－１私病等に関する両立支援の取組（⑦－２以外））**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**従業員の復職支援・病気の治療と仕事の両立支援に向けて、対象者の支援体制の整備等の対策を定めていること。※メンタルヘルス不調に特化した取組については、評価項目⑬において評価すること。※定期健診受診等により再検査・精密検査が必要となった際の支援制度等については、評価項目②において評価するものとし、本項目においては、病気の治療（通院・入院等）を要する従業員が実際に発生した場合への備えを目的とした具体的な取組を評価すること。※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１　産業医及び主治医の意見の聴取等により、復職に向けた支援体制・計画を整備□2　休業期間中や復職後における相談窓口の設置や支援体制の構築□３　休職からの復職を円滑にするために試行的・段階的な勤務制度を整備（例：短時間勤務、試し出勤制度、リハビリ勤務等）□４　病気による休職に関する制度を整備□５　両立支援に関する相談体制や対応手順を整備し、内容を周知（例：社内窓口、保険の付帯サービス、地域の相談窓口等）□６　本人の状況を踏まえた働き方（配置・勤務内容・勤務時間・勤務地等）を策定□７　治療に配慮した休暇制度や勤務制度を整備（例：時間単位年次休暇、有給の病気休暇、通院時間の就業時間認定、時差出勤、在宅勤務等）□８　復帰する部門の上司に対する、両立支援への理解を促すための教育・定期面談等□９　団体保険等による治療費の補助や休業補償の支給（健保組合からの一時金は除く。）□10 仕事と治療の両立に向けた定期的な面談・助言□11 不妊治療に対する支援（通院の際の有給の特別休暇付与等、性別を問わない支援）□12　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　） |
| b)取組開始時期 | 年　　　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑦－２がんに関する両立支援の取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**従業員の復職支援・がんの治療と仕事の両立支援に向けて、対象者の支援体制の整備等の対策を定めていること。※メンタルヘルス不調に特化した取組については、評価項目⑬において評価すること。※定期健診受診等により再検査・精密検査が必要となった際の支援制度等については、評価項目②において評価するものとし、本項目においては、がんの治療（通院・入院等）を要する従業員が実際に発生した場合への備えを目的とした具体的な取組を評価すること。※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１　産業医及び主治医の意見の聴取等により、復職に向けた支援体制・計画を整備□2　休業期間中や復職後における相談窓口の設置や支援体制の構築□３　休職からの復職を円滑にするために試行的・段階的な勤務制度を整備（例：短時間勤務、試し出勤制度、リハビリ勤務等）□４　病気による休職に関する制度を整備□５　両立支援に関する相談体制や対応手順を整備し、内容を周知（例：社内窓口、保険の付帯サービス、地域の相談窓口等）□６　本人の状況を踏まえた働き方（配置・勤務内容・勤務時間・勤務地等）を策定□７　治療に配慮した休暇制度や勤務制度を整備（例：時間単位年次休暇、有給の病気休暇、通院時間の就業時間認定、時差出勤、在宅勤務等）□８　復帰する部門の上司に対する、両立支援への理解を促すための教育・定期面談等□９　団体保険等による治療費の補助や休業補償の支給（健保組合からの一時金は除く。）□10　がんの治療と仕事の両立に向けた定期的な面談・助言を実施□11　その他　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)取組開始時期 | 　年　　　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑧保健指導の実施又は特定保健指導実施機会の提供に関する取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】以下①②のいずれかに該当すること**① 保健指導（特定保健指導を除く）の実施労働安全衛生法に基づく一般定期健康診断等の結果、特に健康の保持に努める必要があると認められる従業員に対し、医師または保健師による保健指導の機会を提供していること（対象者がいない場合、②を満たすこと。）。② 特定保健指導の実施機会の提供保険者による特定保健指導を通じた健康保持・増進を促すため、実施時間の就業時間認定や特別休暇付与、実施場所の提供等の取組を行っていること（対象者がいない場合、ルールの整備・明文化を行っていること。）。※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |
| --- |
| 1. 保健指導の実施
 |
| a)取組の内容（該当項目を■） | □１ 産業医、保健師、地域産業保健センターによる保健指導の実施□２ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)実施時期 | 　年　　　月　　～　　　　年　　　月　 |
| ② 特定保健指導実施機会の提供 |
| a)取組の内容（該当項目を■） | □１ 事業主側から対象の従業員に特定保健指導の案内を周知□２ 特定保健指導の支援を行う担当者を設置□３ 管理職に対して、特定保健指導の重要性を伝えた上で、業務上の配慮をするよう指導□４ 特定保健指導実施時間の就業時間認定や特別休暇付与□５ 社内にて特定保健指導実施場所を提供□６ 対象者が特定保健指導を受けやすいよう、特定保健指導と労働安全衛生法の事後措置とを一体的に実施している。□７ 事業場や対象者の繁閑を保険者と共有し、対象者が特定保健指導を利用しやすい環境を整備（例：健康診断と同日での初回面談の実施、勤務シフトの調整等）□８ 事業場からオンラインで特定保健指導を受けられる環境整備□９ その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)実施時期 | 　年　　　月　　～　　　　年　　　月　 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑨食生活の改善に向けた取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**従業員の食生活の改善に向けた普及啓発等の取組を、事業者が主体的に関与して継続的に行っていること。※従業員の健康増進に向けた目標の策定は、評価項目「健康経営の具体的な推進計画」において評価すること。※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１ 社員食堂・仕出弁当、現物支給、金銭補助等を通じた、健康に配慮した食事を摂取できるような環境整備・支援　　※１にチェックした場合、以下のいずれかにチェックしてください。□減塩に配慮　□野菜の摂取量に配慮　□カルシウムの摂取量に配慮□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□２ 自動販売機や訪問販売等において健康に配慮した飲料・栄養補助食品を提供□３ 食生活改善に向けたアプリ提供、カロリー記録等のサポート□４ 外部事業者・管理栄養士等による栄養指導・相談窓口を設置□５ 朝食欠食対策として社員食堂等で朝食を提供（飲料・栄養補助食品の提供を除く。）□６ 定期的・継続的な食生活改善に向けた企画（例：腹八分目運動、野菜摂取週間、料理教室等）□7 生活習慣病のリスクを高める飲酒量等、節度ある飲酒についての周知啓発□8 その他　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)実施時期 | 年　　　月　　～　　　　年　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑩運動機会の増進に向けた取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員の運動機会の増進に向けた取組を、事業者が主体的に関与して継続的に行っていること。　※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１ 運動機能のチェック（体力測定、転倒等リスク評価セルフチェック、ロコモチェック等）を定期的に実施□２ 職場外のスポーツクラブ等との連携・利用補助□３ 職場内に運動器具やジム、運動室等を設置□４ 運動奨励活動（歩数計の配付、歩行や階段使用の奨励、表彰等）や、運動促進のためのツールの提供（アプリ、動画配信等）□５ 個別の状況やニーズに適した運動指導（運動メニューの作成等）□６ スポーツイベントの開催・参加補助□７ 心身の健康増進を目的とした旅行（ヘルスツーリズム）を開催し、運動の習慣付けを指導□８ 職場において集団で運動を行う時間の設定（例：ラジオ体操、ストレッチ等）□９ 官公庁・自治体等の職域の健康増進プロジェクトへ参加□10 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」の認定を取得□11 立ち会議スペースや昇降式デスク等、通常の勤務を通して運動量が向上するオフィス設備を設置□12　運動習慣定着のため、徒歩通勤や自転車通勤のための支援や働きかけ□13　運動機会の増進を目的としたサークル等の設置・金銭支援や場所提供□14　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)実施時期 | 年　　　月　　～　　　　年　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑪女性の健康保持・増進に向けた取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　女性特有の健康課題に対応する環境の整備や、管理職・従業員が女性特有の健康課題に関する知識を得るための取組を継続的に行っていること（女性従業員がいない場合、何らかの取組を行っていること。）。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容（該当項目を■） | □１ 婦人科がん検診への費用を補助□２ 女性に多く見られる疾患・症状に対する検診項目（例：骨密度、甲状腺機能検査など）への費用を補助□3 婦人科健診・検診の受診に対する就業時間認定や有給の特別休暇付与□4 従業員や保健師等による女性の健康専門の相談窓口を設置（メールや電話等による相談を含む。）□5 女性特有の健康関連課題に対応可能な体制を構築（例：産業医や婦人科医の配置、外部の医師や相談窓口の紹介等）□6 女性の健康づくりを推進する部署やプロジェクトチームを設置□7 妊婦健診等の母性健康管理のためのサポートの周知徹底□8 生理休暇等を取得しやすい環境を整備（例：有給化や管理職への周知徹底等）（※単に生理休暇の制度があるだけでなく、利用を促進する環境整備）□9 更年期症状や更年期障害の改善に向けた支援（通院の際の有給の特別休暇付与等）□10 骨密度低下（骨粗鬆症）予防の支援（骨密度測定、サプリ提供等）□11 女性専用の休憩室を設置 （※法律上設置義務のある休養室は除く。）□12 月経随伴症状の自己管理を支援するツールやアプリを提供□13女性に多く見られる疾患・症状（例：やせ、冷え・のぼせ、片頭痛など）に対し働く環境への配慮や、支援ツール・アプリを提供□14 妊娠中の従業員に対する業務上の配慮（健診時間の確保、休憩時間の　　 　確保、通勤負担の緩和等）の社内規定への明文化と周知□15 女性の健康関連課題等に関する理解促進のための研修・セミナー□16 その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)女性従業員人数 | 　　　　　　　　　　　人 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑫長時間労働者への対応に関する取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員の労働環境をふまえ、長時間労働者（超過勤務時間が月80時間を超える者、あるいは月80時間未満で自社で定めた基準を超える者）が発生した場合の本人の過重労働防止に向けた具体的な対応を行っていること（長時間労働者がいない場合、具体的な対応策を予め策定していること。）。　※過重労働防止に向けた数値目標・計画の策定は、評価項目「健康経営の具体的な推進計画」において、また、過重労働防止に関する研修・情報提供については、評価項目④において評価することとし、本項目では、長時間労働者が発生した場合の具体的な対応を行っていることを評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１ 本人に対して医師（産業医を含む。）による面接・指導□２ 本人に対して保健師・看護師等専門職、産業カウンセラーによる面談・指導□３ 本人に対して人事・労務担当者による面談・指導□４ 本人に対して上司（上長、管理職、社長、経営者等）による面談・指導□５ 管理職に対して人事・労務担当者による面談・指導□６ 管理職に対して社長、経営者等による面談・指導□７ 安全衛生委員会等の場で、超過勤務状況改善を目的とした管理職に対する指摘・指導□８ 本人の業務負荷の見直し、勤務時間の制限□９ 本人に対して追加の健康診断を実施□10 その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)実施時期 | 年　　　月　　～　　　年　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑬メンタルヘルス不調者への対応に関する取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**メンタルヘルスについての相談窓口を設置し、その周知を図っていること、または、不調者が出た場合の支援体制の整備等の対策を定めていること（ストレスチェックの範囲内に留まる取組は不適合。）。※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価するものとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１ メンタルヘルスについての相談窓口の設置および周知□２ ウェアラブルデバイスにより従業員自身のセルフチェック等を支援□3 マインドフルネス等の実践支援（実施場所や実施時間の確保等）□4 従業員にとって安心かつ快適な職場環境の整備について管理職を評価・教育する仕組み（部下による360度評価制度等）□5 メンタルヘルスについての外部相談窓口の活用および周知□6 従業員に対する定期的な面談・声かけ□7 不調者に対して外部EAP（従業員支援プログラム）機関等と連携した復職サポート体制を構築□8 不調者に対してリワークプログラム（認知行動療法等）の(社外での)提供□9 取引先等他社や顧客等からのハラスメントに関する対策を明文化・社内周知□10 その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)取組開始時期 | 年　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑭感染症予防に関する取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　予防接種を受ける際の就業時間認定、感染症を発症した者への特別休暇付与等、従業員の感染症予防や感染拡大防止に向けた取組や制度を実施していること。　※本項目と関連するテーマの研修・情報提供については、評価項目④において評価するものとし、本項目においては研修・情報提供以外の具体的取組を評価すること。 |

|  |
| --- |
| 感染症（インフルエンザ、麻しん、風しん、新型コロナウイルス感染症等）への対策 |
| 内容（該当項目を■） | □１　インフルエンザの予防接種を社内で実施□2　インフルエンザの予防接種費用を補助（一部負担の場合を含む）□3 麻しん、風しん等の予防接種の社内実施または補助を実施□4 予防接種を受ける際に就業時間認定や有給の特別休暇付与等の制度的配慮（家族が予防接種を受ける際の付き添いを含む）□5 感染症を発症した者（家族が発症した場合を含む）への有給の特別休暇付与による感染拡大予防□６ 健康診断時に麻しん、風しん等の感染症抗体検査を実施□7 感染拡大時の事業継続計画を策定□8 海外渡航者に対する予防接種や予防内服等の準備□9 海外渡航者に対する教育の実施や緊急搬送体制の整備□10 感染症のワクチンに対する従業員のリテラシーを高めるための教育・研修□11 事業場において換気設備の整備や換気ルールの導入を行うなど、職場環境を整備□12 その他 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑮従業員に対してインセンティブを提供する取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員の健康づくりへの「きっかけづくり」と、それが習慣化するまでの「継続支援」として、従業員の健康づくりの取組に応じてポイントを付与するなど、従業員に対してインセンティブを提供する取組を行っていること。（例：三重とこわか健康マイレージ事業の「取組協力事業所」） |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） | □１　三重とこわか健康マイレージ事業において認定を受けた「マイレージ取組協力事業所」に関する取組□２ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)取組開始時期 | 年　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（⑯喫煙率低下に向けた取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**　従業員の喫煙率低下を促すため、喫煙者に対する禁煙促進に向けた取組の実施・ルールの設置や従業員に対するたばこの健康影響についての教育・研修を実施していること（喫煙者がいない場合、その状態を維持するために何らかの取組を行っていること。）。 |

|  |  |
| --- | --- |
| a)取組に対する評価の内容　（該当項目を■） | □１ たばこの健康影響についての教育・研修□２ 喫煙率を下げることを目的とした継続的な保健指導または禁煙外来治療の補助□３ 禁煙補助剤の無償支給や購入費支給□４ 禁煙達成者に対する表彰やインセンティブの付与□５ 非喫煙者に対する継続的なインセンティブの付与　　 （例：手当や有給の特別休暇・休憩時間等）□６ 喫煙に関する就業ルールの整備　　 （例：事業場外も含めた就業時間中禁煙、喫煙可能な時間の制限等）　　 ※事業場内全面禁煙や分煙等場所に応じた禁煙ルールは、受動喫煙対策となるため、本項目には該当しません。□７ 禁煙・禁煙継続を促す社内イベントの実施（例：禁煙月間、禁煙デー等）□８ 禁煙・禁煙継続を促すアプリを提供 □９ その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| b)実施時期 | 年　　　月 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（健康づくりの普及啓発の取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |
| --- |
| **【認定基準】**いずれかの普及啓発の取組を行っていること。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| a)取組の内容　（該当項目を■） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | 月日 | 出典 |
| □ギャンブル等依存症問題啓発週間 | ５月14日～20日 | 内閣官房ギャンブル等依存症対策推進本部事務局 |
| □世界禁煙デー | ５月31日 | ＷＨＯ |
| □禁煙週間 | ５月31日～６月６日 | 厚生労働省 |
| □食育月間 | ６月 | 食育推進基本計画 |
| □歯と口の健康週間 | ６月４日～10日 | 厚生労働省 |
| □健康増進普及月間 | ９月 | 厚生労働省 |
| □食生活改善普及運動 | ９月 | 厚生労働省 |
| □がん征圧月間 | ９月 | 公益社団法人日本対がん協会 |
| □県民健康の日 | ９月７日 | 三重県健康づくり推進条例 |
| □自殺予防週間 | ９月10日～16日 | 厚生労働省 |
| □がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間 | 10月 | 厚生労働省 |
| □乳がん月間（ピンクリボン月間） | 10月 | 公益社団法人日本対がん協会 |
| □８０２０推進月間 | 11月 | みえ歯と口腔の健康づくり条例 |
| □いい歯の日 | 11月８日 | みえ歯と口腔の健康づくり条例 |
| □アルコール関連問題啓発週間 | 11月10日～16日 | 厚生労働省 |
| □世界糖尿病デー | 11月14日 | ＷＨＯ |
| □三重県飲酒運転０（ゼロ）をめざす推進運動の日 | １２月１日 | 三重県飲酒運転０（ゼロ）をめざす条例 |
| □自殺対策強化月間 | ３月 | 厚生労働省 |
| □女性の健康週間 | ３月１日～８日 | 厚生労働省 |
| □世界腎臓デー | ３月第２木曜日 | 国際腎臓学会 |
| □食育の日 | 毎月19日 | 食育推進基本計画 |

 |
| 実施内容の概要※目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組がわかる資料（写真、チラシ、社内広報誌等）があれば添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |

　様式４－３

**「三重とこわか健康経営大賞」認定基準適合状況説明書**

**（上記以外の健康づくりの取組）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所（店舗等）名 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容の概要※地域住民との連携、他の企業への横展開、新しい技術の活用など上記以外の健康づくりの取組について、目的・背景、実施方法、成果・意義、今後の展開予定、その他アピール等をご記入ください。※今回応募する取組期間において、新たに始めた内容に関する記述に、下線を引いてください。※取組が分かる資料（写真、チラシ、社 内広報誌等）があれば、添付してください。 | 【目的・背景】【実施方法】【成果・意義】【今後の展開】【その他】 |